



細江カトリック教会

初夏号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura>

あたたかい教会を築いていきましょう

洗礼者ヨハネ ファン・デュック・ディン
(徳定シロハ)

主の平和が皆さんに豊かに与えられますように。4月22日に静かに到着し、27日に復活節第二主日(神の慈しみの主日)のミサを彦島教会で主任司祭の到着初主日ミサとしてささげました。次の主日(5月4日)に献堂式があったばかりの新しい細江教会で皆さんのためにミサを行いました。主任司祭としてまだ経験不足の私のために祈りください。この使命を果たすことができますように、心より皆さんの祈りとご協力お願い申し上げます。

神の恵みにより教会が誕生し、様々な司牧者や多くの方々が人生を捧げて私たちの共同体を支えてくださったことに感謝いたします。

私たちはイエス・キリストを信じる者の集まりです。イエスは「二人または三人が私の名において集まるところには、わたしもその中にいる」(マタイ 18:20)と言われました。真の信仰と一致があれば、主の臨在を体験できます。祈り、分かち合い、主の名のもとで繋がることで、共同体は

信仰を強め、愛を広めます。これが強固な教会共同体を築く基盤です。

したがって、すべての活動は祈りとイエス・キリストとの結びつきから始まります。特に神の救いの業を記念するミサが重要です。もし祈りやミサを忘れれば、信仰の共同体ではなくなるでしょう。また、イエスは弟子たちに「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる」と教えられました(ヨハネ 13:35)。愛は一致のしるしであり、奉仕と受け入れ合うことがその証です。あらゆる証の行動は祈りとミサから始まらなければなりません。ミサは「一致の秘跡」だとも言われているのです。

小教区共同体には教会のすべての信徒が含まれています。とはいえ、誰もが、排除されことなく皆で一体感を感じられるようにするのはどうすればよいのでしょうか？

5月25日の主日ミサ(細江)では、社会教説があったにもかかわらず、参加者は約50人しかいませんでした。小教区共同体の司牧者として、私は非常に悩んでいます。残りの500人以上の信徒たちはどこにいますのでしょうか？(どうすればこの兄弟姉妹を捜し回っていくことができるでしょう?)

あたたかい小教区共同体を築き、すべての人を歓迎する友好的で親しみやすい環境を構築することが求められています。そのためには、多くの人々が参加し、信仰、愛、分かち合い、そして奉仕の精神に基づいた強い一致を目指しています。まずは、教会から離れた地域に住む兄弟姉妹を訪問し、関係を深めていくことを望んでいます。(家庭ミサは可能です。)

5月8日に教皇レオ14世が聖ペテロの後継者として選ばれ、教会全体を導く新しい司牧者と

なったことを神に感謝しています。教皇および教会を指導する司牧者のために祈りましょう。そして、私自身のためにも祈っていただければ幸いです。

私たちは立派な聖堂建築をひとまず成し遂げて、これからは互いに知り合い助け合う美しい小教区共同体を求めています。私たちの小教区共同体を主のみ心に委ねます。(6月は主イエス・キリストの聖心を敬う月です。)

〔主任司祭の事務室は2階の右側の最も奥の部屋です。私は皆さんをいつでも歓迎します。私がここに遣わされたのは、皆さん一人ひとりに奉仕するためだからです。〕



聖週間～ご復活 4/17～4/19

今年の聖週間は新しい聖堂で執り行われました。

聖木曜日(最後の晚餐)

＊洗足式
「たがいに足を
洗い合わなければ」
(ヨハネ 13.34,
15.12)



＊小聖堂の仮聖櫃にご聖体を安置する。

聖金曜日(主の受難)



これから十字架礼拝を致します・・・

＊聖金曜日と聖土曜日の典礼は彦島教会の信徒(兄弟姉妹)と共に与りました。

聖土曜日(復活の聖なる徹夜祭)



＊暗闇の中から聖土曜日のミサが始まります



「キリストの光」「神に感謝！」

主のご復活おめでとうございます！

悲しみにつつまれて・・・

主のご復活を過ぎ、4月21日午前7時30分（ローマ時間）に、教皇フランシスコは、神へのもとへ旅立ちました。

わたしたちの心には、いつまでも愛といつくしみの深い教皇さまのお姿が刻まれています。



天の国で、罪深いわたしたちのためにお祈りください！

＊神のいつくしみの主日にて・・・フランシスコ教皇さまのために祈る



＊3月8日に帰天された、三喜田虎太神父さまの追悼ミサが5/12(月)山口サビエル教会聖堂で行われました。



以前、まだまだお元気な頃に細江教会で旧約聖書の分かち合いに度々来てくださいました。神父さまは決して「こうだ！」とか持論を押し付けるのではなく、「わたしもあんまりよく分からないんだな～」「そう、思うんだけどな～」と返答され、そこがまた面白く絶えず笑いあり、親しみ深い聖書の集いでした。

本当にお別れですね。天の上から私たちのことを見守ってください。

「トラさん！トラさん！」

天の国で先人の方々と問答しているのでしょうか？いつもにこやかに笑っているのでしょうか？



乙女峠祭 津和野巡礼 5/3(土)



聖年の乙女峠祭です。五月晴れの津和野で

巡礼のお恵みをたくさん得たことでしょう・・・

下関協働体は乙女峠で献金籠の奉仕に協力しましたが、初めての奉納だったので、少し戸惑ったそうです。



社会教説 5/25 (日)



教皇フランシスコの最後の出版となる『イエスのみ心』をぜひ読んでほしいと、そのための社会教説でした。

中井神父さまが不安をかかえながら下関にやってこられた時の事や当時のニコラス管区長からアジア・太平洋地域の難民移住者のネットワークのまとめ役を任命された時、「全力を尽くします。」と言ってしまい 今に至っていることなどスライドを交えてお話いただきました。

ロクスひよりやまから、子ども食堂やキッチンカーで飛び回り、痛んでいる人たちの元へ、何をしあげられるかではなく、人の痛みが分かるようにイエスのみ心を通して派遣されていることを信じて。

ご復活の前日に北海道でできた曲「心から心へと」はギターを弾きながら歌ってくれました。林神父さまが「今までと違う出て行く音に変わっているね。」と言われたそうです。

イエスのみ心は私たちを包み、本当の私たちにしてくれる事を信じて、ありのままで出て行かれますと思います。

私もこだわっている仕事について考える事ができ、貴重な時間をいただきました。



リタ 林恵子



新教皇さまの誕生！



Leo P.P. XIV



＊新しい教皇レオ14世

(ロバート・フランシス・プレヴォスト)

1955年9月14日ーアメリカ合衆国イリノイ州シカゴ生まれ・聖アウグスチノ修道会に所属。

1985年～1986年及び1988年～1998年にかけてペルーで司祭として司牧し、同時に教区役員や神学校教員などを務める。

2001年～2013年まで聖アウグスチノ修道会の総長職を果たす。

2015年～2023年までペルーのチクラヨ司教を務め、2023年枢機卿に任命された。

2023年以降、教皇庁司教省長官および教皇庁ラテンアメリカ委員会委員長を務めた。

2025年5月8日、教皇に選出され、「レオ14世」という名前を選ばれた。ペルー国籍も取得している。

「選出された恵みを神さまに感謝し、教皇としての今後の新しい任務のために、神さまのお助けを、ともに祈りましょう。」

広島教区 司教の通達より抜粋